

<h1>NO. 21</h1>	<h1>テント設営・撤収, テント泊</h1>
-----------------	-------------------------

### 1 ねらい

- ・テント設営の活動を通して、自然との一体感を感じたり、設営したりして基礎的な技術を身に付ける。
- ・グループの仲間と協力して、協調性や友情を深める。

### 2 活動の計画

(1) 活動期間	4月～11月	
(2) 所要時間	・設営：1.5時間(シュラフの説明を含む) ・撤収：1時間 ※約90名規模(25張使用)で活動の場合	
(3) 活動場所	学校キャンプ場テントサイト	
(4) 準備物	〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
	・テント本体 ・フライシート ・フレーム ・ペグ ・ハンマー ・ほうき ・ちりとり ・シュラフ ・パタパタマット ・設営・撤収マニュアル	・救急用品 ・雨具 ・軍手 ・雑巾 ・テント名簿 ・洗面用具 ・懐中電灯

### 3 活動について

- ・テント泊については「利用の手引き」を参照し、テントの設営と撤収方法は「設営・撤収マニュアル」を参照してください。
- ・テント活動の意義・目的を明確にします。
- ・テントには宿泊しないで、テントの設営や休憩・撤収を活動として体験することもできます。
- ・活動のねらいにより1名での宿泊(ソロテント)もできます。
- ・テント1張あたりの宿泊人数は1名～テントの定員(5名)になります。
- ・テント設営・撤収ではグループの人数が多いと、個々の活動にかかわる場面が少なくなるため、テント1張あたり2～4名が適しています。
- ・人数が少ない場合は、活動時間を多めにとる必要があります。
- ・テントへの出入りやテント内での活動、雨天時の居住性を考慮すると、定員よりも少ない人数が望ましいです。
- ・テントがぬれている場合は、テントを撤収しません。
- ・撤収の際は、使用用具や数を点検し、忘れ物がないように確認してください。

NO. 21 テント設営・撤収，テント泊  
(2025年3月更新)

4 展開例

※90名規模(25張使用)の場合

(1) テント設営

区 分	内 容
準備・説明 (20分)	(1) 活動のねらい，服装の確認をします (2) テント用具，パタパタマット，シュラフ等の確認をします (3) 設営の手順，諸注意の説明を聞きます
活動 (85分)	(1) テントのキャリーバッグ，ペグセットを運搬します (2) テント毎に設営します
まとめ・片付け (15分)	(1) 後始末をします (2) パタパタマット，シュラフ，個人の荷物を搬入し，宿泊の準備をします

(2) テント撤収

区 分	内 容
準備・説明 (10分)	(1) 撤収の手順，諸注意の説明を聞きます (2) フライシートをはずして乾かしておきます (3) パタパタマット，シュラフの回収・返却をします (4) 個人の荷物を搬出します
活動 (40分)	(1) テント内の点検(忘れ物等)，清掃をします (2) テント毎に撤収します (3) ペグセットの数を確認します (4) テント倉庫にテントバッグ・ペグセットを返却します
まとめ・片付け (10分)	(1) テントサイトのゴミ拾いをします (2) 感想発表・反省等をします

5 活動上の留意点

- ・暑い日に活動するときは，熱中症などに注意して水分を取りながら活動し，軍手・帽子などを着用して活動に合った服装をします。
- ・ハンマーの取り扱いなど，安全に気をつけます。
- ・テントにポールを取り付ける時や外す時には，ポールの跳ね返りに注意して2人で声を掛け合って確認しながら活動します。
- ・荒天時等の宿泊場所の変更については，ふれあい館職員と連絡の上，検討・調整します。



写真1 テント設営の様子

## ■テント設営マニュアル（設営テント：スノーピーク）

オーエンス泉岳自然ふれあい館

<p>①テント用具をふくろから出します。 作業は2人以上でやりましょう。</p>		<p>⑨続いてフックをフレームにつける。たくさんあるので良く見てつける。ねじれに注意しましょう。</p>	
<p>②テントを広げ、フレームを組み立てます。 フレームの先に注意しましょう。</p>		<p>⑩次にフライシートをはります。入り口の部分がどちらにくるか確認しましょう。</p>	
<p>③黄色の印が付いたフレームを黄色の印が付いた赤いふくろに（交差している下のふくろから）通します。（天じょうになる部分のふくろ）</p>		<p>⑪フライ内側のマジックテープでフレームを固定する。フライシートのバックルとテントのバックルをつなぎ、つないだらひもを引きます。</p>	
<p>④2本ともふくろに通したら、黄色の印が付いた所にあるピンにフレームを差します。</p>		<p>⑫入口部分の写真。 ※赤い部分がたて2本、横1本の線に見える方が入口です。</p>	
<p>⑤黄色のフレームは2本あり、それぞれ対角になるようにします。 ※手をはなさない。はね返りに注意しましょう。</p>		<p>⑬入口にある赤いふくろに、赤い印のあるフレームを通します。</p>	
<p>⑥次に緑のフレームを黄色と同じように、黄色のフレームの外側から緑の印が付いた赤いふくろに入れて通します。</p>		<p>⑭赤い印のフレームはふくろを通したら、近くの黄色印のところにあるピンに差します。</p>	
<p>⑦黄色と同じようにピンに差します。 緑も2本あり、U字にクロス(×)するように差します。</p>		<p>⑮入口部分にペグを打つ（2ヶ所）。テント周りも風で飛ばないようにペグを打ちます。</p>	
<p>⑧黄色と緑2本ずつフレームをつけるとこのようになります。</p>		<p>⑯入口と反対側は片側が開けられるようにペグを1本だけ打ちます。 ※これで完成！</p>	

## ■テント撤収マニュアル（設営テント：スノーピーク）

仙台市泉岳自然ふれあい館

<p>①赤のフレームを外します。バックルとマジックテープも外し、フライシートを外します。入口とうら口の上にあるひもを持ちます。</p>		<p>⑨テントの黄色の差こみ部分を持ち、外側にたれている部分を内側に入れます。</p>	
<p>②二人でそのひもを持ち合います。</p>		<p>⑩ 2人で写真のように持って、テントを3つ折りにします。</p>	
<p>③右手と左手を合わせて、たたみます。</p>		<p>⑪横にしてたおしたら、キャリーバッグに入る大きさに折り、空気をぬきながら丸めます。</p>	
<p>④横にたおし、長方形になるようにはしの部分を内側に折ります。</p>		<p>⑫最後までしっかり空気をぬきましょう。</p>	
<p>⑤キャリーバッグに入るように折ります。3つ折りにします。 ※キャリーバッグサイズ</p>		<p>⑬テント、フレームをキャリーバッグにいれます。</p>	
<p>⑥かた側から空気をぬきながら丸めます。 ※両側から丸めると空気がぬげにくくなります。</p>		<p>⑭ひもをひっぱり口をしっかり閉めます。</p>	
<p>⑦最後に空気をしっかりぬき、キャリーバッグに入れます。</p>		<p>⑮最後にキャリーバッグのふたを閉めます。</p>	
<p>⑧テントは、入口2ヶ所のチャックを下の部分のみ開けません。次にフレームを外します。必ず両側から2人で行いましょう。</p>		<p>※使用したテントサイト（通路等）の清掃も手分けしてやりましょう！</p>	

手を離さない。  
はね返りに注意！

撤収完了！

## パタパタマット・シュラフの貸出・返却について

### ●パタパタマット

テント本体の設営が終わりましたら、テント倉庫から運んで下さい。

※テント 1張あたり2枚ずつ 入れて下さい。単独利用の場合は1人1枚ずつでも可

※テント倉庫からの出し入れの際は、引率者がついて、数を確認して下さい。

### ●シュラフ

ふれあい館職員が数を確認しながら、児童生徒に1人ずつ手渡します。

### 【手川頁】

①まず、児童生徒がパタパタマットをテント内に敷き終わったことを確認して下さい。

②次に、テント倉庫西側ドア前に児童生徒を一列に並ばせて下さい。

③最後に、シュラフを受け取る準備ができたことを職員にご連絡下さい。(PHS貸出可)  
直ちに職員が対応します。

※1人に2個渡すことはできません。(代理での受け取りは不可)

体調等の理由で本人が受け取れない場合は、児童生徒全員に渡し終わった時点で  
指導者の方が受け取って下さい。

※指導者分のシュラフは、児童生徒分の受け渡し終了後に受け取って下さい。  
(代表の方が受け取ることもできます)

※パタパタマット、シュラフともに、借り受けや受け取りが「であいのつどい」の時刻(16:00~)にかからないようにご注意下さい。

※シュラフを受け取ったら、明るいうちにファスナーの破損等がないかどうかチェックしてください。破損等があった場合は、職員にご連絡下さい。交換いたします。

●返却は、翌朝9:00までにお願いします。

※パタパタマットの返却場所：テント倉庫内 (数を確認)

※シュラフの返却場所：浴室棟ピロティの金属製柵